

「手術画像配信システムを用いた腹腔鏡手術指導の安全性及び有用性の検討」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2000年1月から2029年3月に山梨大学医学部附属病院もしくは富士吉田市立病院で腹腔鏡などの鏡視下手術を受けた方

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2030年3月31日

3. 情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年5月1日

4. 研究の目的

現在、消化器外科・泌尿器科・呼吸器外科・婦人科領域の多くの手術が腹腔鏡や胸腔鏡で可能になっています。しかし、どの施設でもすべての術式に対して鏡視下手術が導入されている訳ではありません。その一つの理由として、その術式に対する経験不足が挙げられます。各施設において経験豊富なエキスパートの指導があれば、導入できる術式も多く存在します。

近年、通信回線の高速化が進み、遠隔地からの手術指導を行うことが出来るようになりました。

本研究では、遠隔手術指導を行った方、行わなかった方のデータを比較して、遠隔手術指導の安全性や有用性を検討することを目的としています。

5. 研究の方法

共同研究機関の腹腔鏡手術に際して、当院から遠隔手術指導を行った結果を評価します。この結果と、手術指導を行わなかった同じ手術の結果を比較検討します。

共同研究機関からの情報は、氏名等の特定の個人を識別することができる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付与した上で、暗証番号を設定したファイルをメールにて提供いただきます。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ 等

試料：該当なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究代表者】

山梨大学 外科学第一講座 教授 市川 大輔 機関の長：小泉 修一

【共同研究機関】

富士吉田市立病院 院長 研究責任者：松田 政徳 機関の長：松田 政徳

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

研究責任者及び分担研究者の利益相反については、山梨大学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切に審査されています。また共同研究機関の研究者も、利益相反について所属機関にて適切に審査されています。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者の所属・氏名：山梨大学 外科学第1講座 河口 賀彦

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 番地

メールアドレス：ykawa@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-7390